



《教育目標》
みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

気持ちの良いあいさつを響かせよう

校 長

5月1日の全校朝会で、高学年のあいさつリーダー4人に「どんなあいさつをすると良いのですか」と尋ねました。すると、「はっきりとしたあいさつ」「笑顔であいさつ」「目を合わせてあいさつ」「相手の方を向いてあいさつ」と答え、それぞれ気持ちの良いあいさつを聞かせてくれました。

実は、高学年は「あいさつ革命を起こそう」と集会を開きました。「どんなあいさつをするとよいか」を話し合い、一人一人がめあてを決め、あいさつリーダーを決めました。こんなに頑張っているのだから他の子どもたちに知らせよう、と全校朝会で話をしてもらったのです。

当校のあいさつは、現段階ではどの子どもも素晴らしいあいさつができる、とまではいきません。良いあいさつを響かせている子どもは多くいます。しかし、進んであいさつをする子どもは多くありません。昨年度から、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)でも話題になっています。

そこで、何とか良いあいさつへの機運を盛り上げようと高学年が動き出したのです。実際、朝、バスを降りてから進んであいさつする子どもが増えました。また、私と目を合わせてからあいさつする、私の方を向いてあいさつする子どもが増えました。さらに、地域の方々へ登校班全員であいさつする様子も見られるようになっていきます。先日、このことを保護者からも褒めていただきました。

このウイルス禍により、大きな声を出すことが難しい状況になりました。マスクをしているためになおさらあいさつの声が届きにくくなりました。そのため、子どもたちの良いあいさつの意識は「はっきり、笑顔、目を合わせて、相手の方を向いて、聞こえる声で、進んで、元気」など多様化しています。子どもたちが考えたように「目を合わせて」「相手の方を向く」「笑顔」というあいさつでも気持ちが伝わります。これも「気持ちの良いあいさつ」になると気付かされました。

今月28日には、運動会が行われます。全校朝会では、「運動会でも気持ちの良いあいさつを響かせましょう。」と話しました。そして、「みんなで気持ちの良いあいさつが響き渡る朝日さくら小学校にしていきましょう。伝統を作るのはあなたたちです。」と結びました。

ご家庭、地域でも、家族間や地域へのあいさつがこれまで以上に良くなりますように子どもたちへのお声掛けをお願いします。また、家庭や地域でのあいさつの様子を学校へお知らせいただければ幸いです。

